

# 「石川地震で13年前思い出す 全国に防災の大切さを」 大川小学校で「竹あかり」準備始まる

2024年1月28日(日) 仙台放送

石巻市針岡地区では「大川竹あかり」に使う竹の切り出し作業が行われました。

これは震災で犠牲となった人の鎮魂と大川小学校の教訓を風化させないため、遺族たちが中心となり組織された「一般社団法人大川竹あかり」が企画したもので今年で3回目となります。

竹灯ろうは3月11日に、震災の津波で児童74人・教職員10人の合わせて84人が犠牲となった大川小学校に灯されます。

1月28日は児童の遺族たちが、竹灯ろうに使う竹を切り出していきました。

大川竹あかり 佐藤和隆代表理事

「石川県でもあのような地震災害があり13年前を思い出すというか、この竹あかりを通してまた全国に防災の大切さとかを伝えるひとつの行事になれば良い」竹灯ろうは、2月4日に制作が始まります。

